

特59

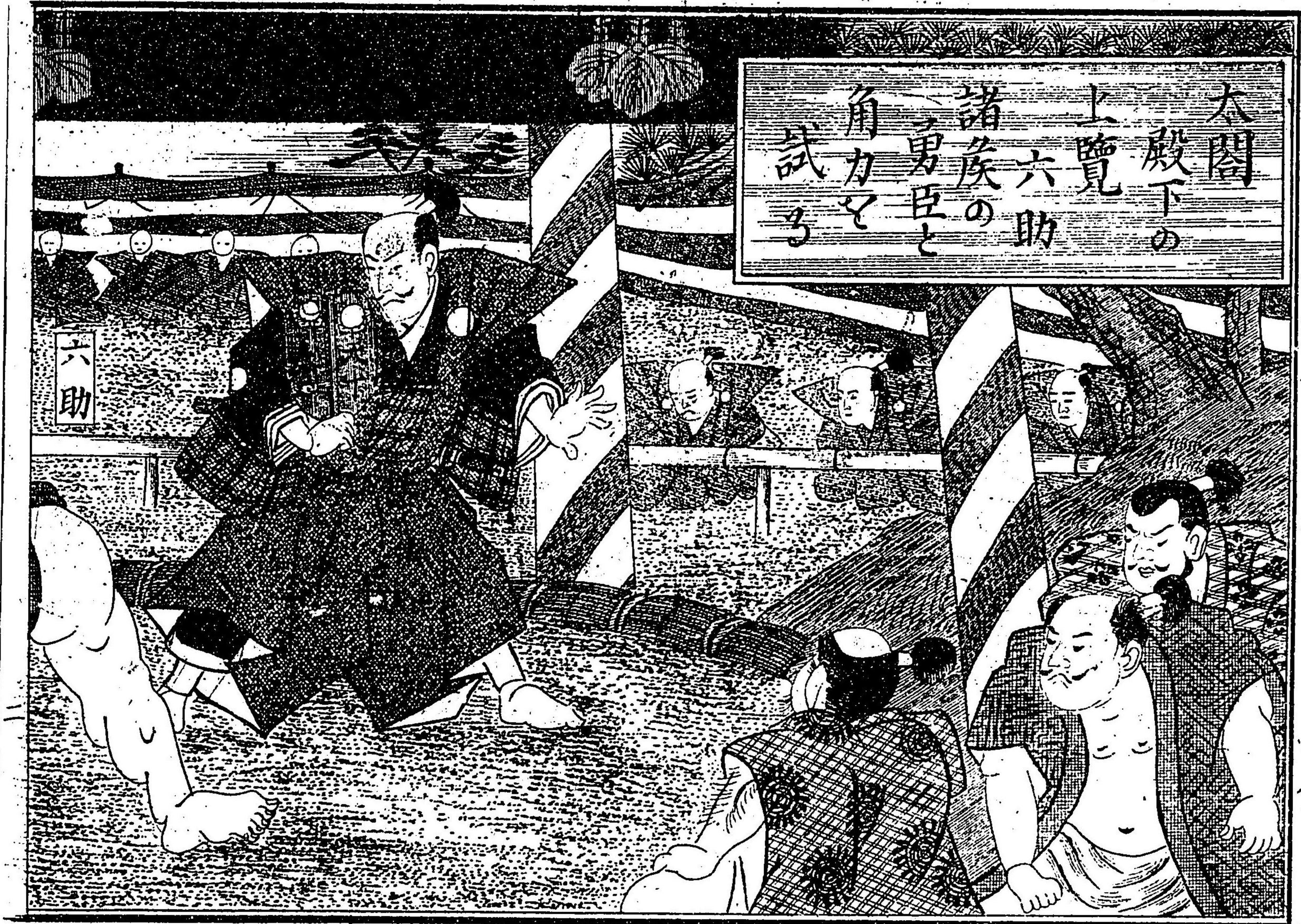
914

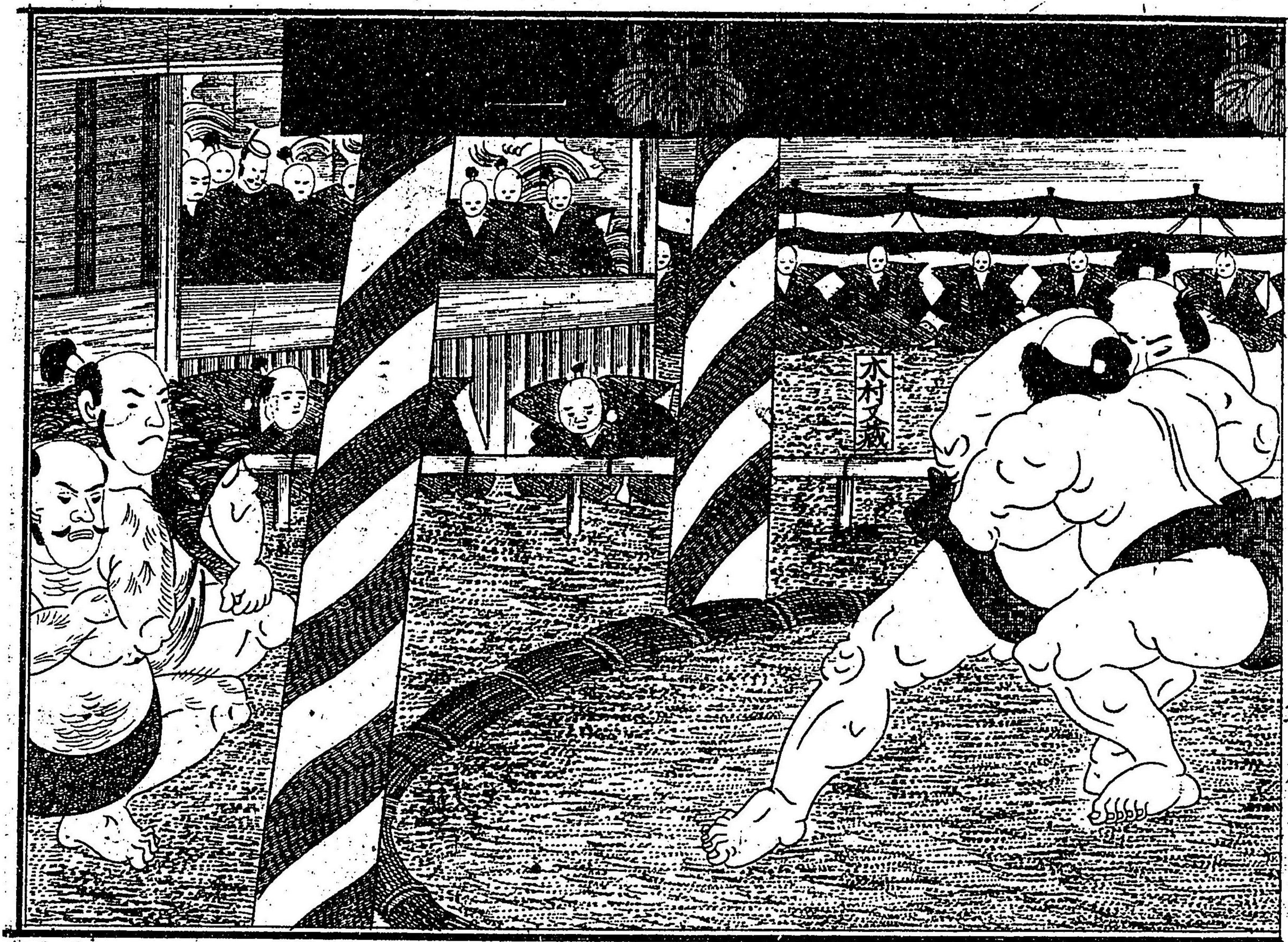
繪本  
武勇村谷三毛傳全





大閣 殿下の  
上覽 六助  
諸侯の  
男臣と  
角力と  
試る





毛谷村



六助



毛谷村



京極内匠

茲ふ九州の内お毛谷  
村といふありそむ村ふ  
六助一人の老母あり  
貧しき暮しとあり



吉岡味次

居る農夫

△あり  
常不親  
最めづらじ

孝子ありつひく彦山権現を  
祈り武道力量を授給ひと信  
近村近郷六助あり  
並ぶ者あり兼て仕官の望あれど己れより勝り

△あり  
常不親  
最めづらじ  
△あり  
常不親  
最めづらじ  
△あり  
常不親  
最めづらじ  
△あり  
常不親  
最めづらじ



△キ六助が勝つる者  
高録が召うる人  
爰に京極内匠と云

者 剣術

吉岡

一味

と老練の武人あり

内匠ハ已れ 京極内匠

吉岡が及はるるより



少しの怨念を念じて一味  
汝を暗殺し其國を立退  
浪々の身となり此國を来  
り立札と見え元より奸智  
ある者歟

六助

△六助の

かうも聞

み孝行のど

聞武山家へ入住む

老婆をせじ吾母と号

しかがひて六助方来り 決工



ツギ面會  
して拙者  
浪々の身  
あて人の母  
と養ふるも  
るる故也  
身吾  
と立合  
してま  
く  
れ  
当領主へ  
召入られん



只母の存生中安  
心こそせんと  
平ふ孝心に頼むる  
元より六助へ正直ある  
者故孝心ときく頼  
か應し領主立花家  
へ相願仕合とて六  
助へ勝と京極のつりし  
ゆへ直内匠へ召入ら  
れり彼の老婆をばこのあ  
あられんことと恐れ  
之殺し谷底へ打捨  
つり無斬あり





手名村

吉岡妻子敵討願ひ大筒の  
上覽ふ六助後見し

六助

敵を討せし  
首尾  
六助の名又



高く諸侯の  
勇臣と角力  
ととり数む  
人の末清正  
の巨木村又藏  
お負加藤  
の臣成貴田  
孫兵改  
めその妻と軍  
功多といふ

御届明治二十年八月十五日  
日本橋區若松町十五番地  
編輯兼  
出版人  
尾関  
トヨ

三錢

